

西暦	昭和	出来事
1926	元	・(12月25日)大正天皇崩御 ・(12月25日)昭和に改元
1927	2	・(3月)昭和金融恐慌 ・(3月)南京事件 ・(12月)東京地下鉄道が開業する(上野～浅草間)
1929	4	・世界恐慌 →ニューヨークでの株式大暴落がきっかけ
1930	5	・ロンドン海軍軍縮会議が開かれる
1931	6	・満州事変 →満州のほぼ全域を占領してしまう。
1932	7	・(3月)満州国を建国 →日本が国際的に孤立するきっかけとなる ・(5月15日)五・一五事件→海軍の青年将校が犬養毅を暗殺。
1933	8	・(3月)国際連盟脱退→国際連盟リットン調査団の報告書で満州国を中国に返還。
1935	10	・天皇機関説事件
1936	11	・(2月26日)二・二六事件 →陸軍の青年将校が要人を襲撃。
1937	12	・(7月7日)盧溝橋事件 ・日中戦争(～1945年)
1938	13	・(4月)国家総動員法が制定→戦争目的なら国家が人的物的財産を自由にできるというとんでもない法律。
1939	14	・(9月1日)第二次世界大戦開戦
1940	15	・(9月)日独伊の三国同盟が成立
1941	16	・(4月)日ソ中立条約締結 ・(12月8日)真珠湾攻撃→太平洋戦争開戦 ・(6月5日～7日)ミッドウェー海戦 →日本側大打撃
1943	18	・イタリアが連合国に降伏
1944	19	・(12/7)昭和東南海地震(M7.9)発生
1945	20	・(3月10日)東京大空襲 ・(4月)アメリカ軍が沖縄に上陸 ・(5月)ドイツが連合国に降伏 ・(7月)ポツダム宣言 →連合国側が日本に降伏を勧告する宣言 ・(8月6日)広島に原爆投下 ・(8月8日)ソ連が対日宣戦を布告 ・(8月9日)長崎に原爆投下 ・(8月15日)ポツダム宣言受諾 ・(8月15日)太平洋戦争終結 ・(9月2日)第二次世界大戦終結 ・選挙法改正→20歳以上の男女に選挙権 ・労働組合法制定 ・国際連合設置
1946	21	・(1月)人間宣言 ・(11月3日)日本国憲法公布(施行は1947年5月3日) ・(12/21)昭和南海地震(M8.0)発生
1947	22	・(3月)教育基本法制定 ・(4月)労働基準法制定(5月3日)日本国憲法施行
1950	25	・(6月25日)朝鮮戦争勃発(1953年7月27日休戦)
1951	26	・(9月8日)サンフランシスコ平和条約締結

		→連合国による占領が終結、日本は主権回復 ・(9月8日)日米安全保障条約締結
1953	28	・(2月)NHKが放送を開始する(テレビ) ・(12月)奄美群島がアメリカから返還される
1954	29	・自衛隊設置
1955	30	・イタイイタイ病発生
1956	31	・(10月)日ソ共同宣言を発効 →日ソ国交回復 ・(12月)国際連合に加盟する ・水俣病発生
1957	32	・(3月)関門トンネル開通
1958	33	・(12月)東京タワー完成
1959	34	・安保闘争
1960	35	・四日市ぜんそく発生 ・(1月)日米新安全保障条約 ・(9月)カラーテレビ放送開始 ・ベトナム戦争(～1975)
1962	37	・(10月)キューバ危機
1963	38	・部分的核実験停止条約
1964	39	・第二水俣病発生(新潟県) ・(10月1日)東海道新幹線開業 ・(10月10日)東京オリンピック開催
1965	40	・日韓基本条約締結
1968	43	・(4月)東名高速道路開業 ・(6月)小笠原諸島がアメリカから返還される
1969	44	・(1月)東大田講堂事件 ・(7月)アポロ11号が人類初月面着陸
1970	45	・(2月)日本初人工衛星「おおすみ」打ち上げ ・(3月)よど号ハイジャック事件 ・(3月)日本万国博覧会(大阪万博)開催(3/14～9/13の183日間)
1972	47	・(2月)札幌オリンピック開催 ・(2月)あさま山荘事件 ・(5月15日)沖縄がアメリカから返還される ・(9月)日中共同声明により中国と国交を回復(田中角栄首相)
1973	48	・第一次オイルショック →第四次中東戦争が発端 ・(3月)変動相場制に移行
1975	50	・(5月)沖縄海洋博開催(～1976)
1976	51	・(2月)ロッキード事件
1978	53	・第二次オイルショック ・(5月)成田空港開港 ・(8月)日中平和友好条約を締結
1979	54	・(3月)スリーマイル島原発事故(アメリカ)
1983	58	・(4月)東京ディズニーランド開園 ・(7月)ファミリーコンピュータ発売 ・(3月)筑波万博開催(～9月)
1985	60	・(8月12日)日本航空123便墜落事故 →史上最大の航空機事故
1986	61	・(4月)チェルノブイリ原発事故(ソ連)
1988	63	・リクルート事件(政財界の贈収賄事件) ・(3月)青函トンネル開通 ・(4月)瀬戸大橋開通
1989	64	・(1月7日)昭和天皇崩御 ・(1月8日)平成に改元

ぎふ専研
[岐阜商工会議所専門家研究会]

当研究会は岐阜商工会議所に登録している各専門家25名が研鑽を重ね、企業や事業支援の実践に役立てることを目的としています。主な活動は、企業経営に関する法律、税務、財務、販売、事業承継、ITなどの事例を通して各専門分野からの意見や提言を行い、企業最適化を図ることです。

ぎふ専研レポート

歴史は形を変えて繰り返す! 歴史(戦略)に学ぶ企業経営

大正から激動の「昭和」の時代へ

1 歴史は繰り返す
(歴史から経営を学ぶ)

過去に起こったことは同じような経緯をたどって再びやってくるものである。古代ローマの歴史家クルティウス・ルプスの言葉「History repeats itself」の訳語。いつの時代も人間の本性(本来の姿や性質)に変わりのないため、過去にあったことは、また後の時代(現代・未来)にも繰り返して起きるといふこと。科学技術が大きく進歩しても、人間の心は実体験で鍛えられるもので、人の老化・死によってその実体験は失われていく。

人は技術・芸術・科学・文学など、ノウハウや成功・愛情・勇気・恐れなどさまざまな体験を伝えようと努力しているが、限界がある。人が人(人間社会)である以上、その心の動きは似たような状況では似たようなものとなり、似たような行動を取る。だから、時代が変わっても似たような環境(歴史的状况)があれば、似たような歴史が繰り返されることになる。

過去の歴史を学び、過去に負・マイナスと思われる歴史があれば、注意して経営をコントロールし、安易な心の動きを抑える必要がある。また、プラス(成功)歴史があれば経営のヒントにする。それが「歴史から経営を学ぶ」ということである。

本の歴代元号の中で最も長く続いた元号であり、「元年」と「64年」は使用期間が共に7日間であるため実際の期間としては62年と14日となる。なお、外国の元号を含めても最も長く続いた元号であり、歴史上60年以上続いた元号は日本の昭和(64年)、清の康熙(61年)および乾隆(60年)しかない。

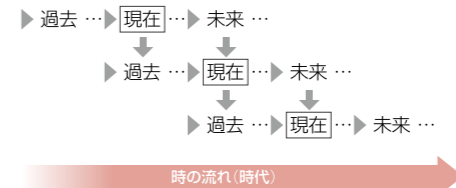
第二次世界大戦(太平洋戦争)が終結した1945年(昭和20年)9月2日或いは玉音放送された同年8月15日(終戦記念日)を境にして近代と現代に区切ることがある。また1947年(昭和22年)5月2日以前は天皇主権体制の大日本帝国憲法下(いわゆる戦前期)の時代、1947年(昭和22年)5月3日以降はGHQ占領期を含めて国民主権体制と日米安全保障条約体制の日本国憲法下(いわゆる戦後期)と冷戦と高度経済成長の時代という異なる政治体制である。

歴史は、今を経営する者がより良い事業を展開するために、先人が遺してくれた経営の鑑(かたみ)でもあります。
* 史実は諸説あります。本文とは異なる説もあつたのでご了承ください。
* イラストはイメージです。
* 参考文献・昭和時代年表(岩波ジュニア新書、昭和時代(朝日新聞出版))

2 「大正」から「昭和」へ

■人の社会における類似環境下では、類似的な歴史を繰り返す

例)戦争(紛争)：人類の歴史では、いつの時代にもどこかで戦争(紛争)があった



要因：領土争い、民族的対立、イデオロギ-的対立、宗教問題、政治対立

中小企業診断士・社会保険労務士・販売士 大野実雄氏

●プロフィール
(オオノ シツオ)
メーカー、経営コンサルティングファームを経てオオノ経営労務事務所開設。「変化には変化でしか対応できない」を企業支援の基本としている。著書に「売れるように売れば必ず売れる」「働き方・生き方こころの軸」「勝つ企業」等がある。

